

A 問題

1. How long () when your number was called at the restaurant?

- ① had you been waiting ② have you been waiting ③ have you waited ④ were you waiting

✓【正解】① had you been waiting

日本語訳：番号が呼ばれたとき、どれくらい待っていましたか？

💡【ポイント】

「過去のある時点までずっと～していた」を表すときは、過去完了進行形 (had been ～ing) を使います。

✎【なぜこの形が正しいの？】

“when your number was called (番号が呼ばれたとき)” は過去の出来事。その前から待っていたことを言いたいので、「過去より前」の形＝had been waiting になります。

✗【他の選択肢がダメな理由】

- ② have been waiting → 現在完了進行形。今までの継続を表すから時制が合わない。
- ③ have waited → 「～したことがある／もう～した」などの結果を表す完了形で、継続の意味が出ない。
- ④ were waiting → ただ「そのとき待っていた」だけで、「どれくらい待っていたか」は表せない。

✂【覚え方のコツ】

👉 “had been ～ing”＝「そのときまでずっと～していた」

📘 例：I had been studying English for two hours when my friend came.

(友達が来たとき、私は2時間ずっと英語を勉強していた。)

2. She insisted on () there alone.

- ① going ② she went ③ that she went ④ to go

✓【正解】① going

日本語訳：彼女は一人でそこへ行くことを主張した。

💡【ポイント】

“insist on”の「on」は前置詞。

前置詞の後ろに動詞を置くときは**～ing (動名詞) **にするのがルールです。

✎【なぜこの形が正しいの？】

“insist on”は「～することを強く主張する」という熟語。

“on”の後ろに動詞をそのまま置けないので、“going”という名詞の形にする。

✗【他の選択肢がダメな理由】

- ② she went → 文が1つ増えて文法的に不自然。

- ③ **that she went** → “insist that～”は別の文型（that 節）で、on があるときには使えない。
- ④ **to go** → “to”は不定詞の to だが、ここは前置詞 on の後なので不定詞は×。

✖ 【覚え方のコツ】

👉 「前置詞の後ろはぜったい“ing”！」

📘 例：I'm thinking of **moving** to Tokyo. (東京に引っ越すことを考えている)

3. Ken () be hungry now. He has just had breakfast.

- ① can't ② may ③ mustn't ④ should

✅ 【正解】① can't

日本語訳：ケンが今お腹すいているはずがないよ。朝ごはん食べたばかりだから。

💡 【ポイント】

“can't + 動詞の原形”＝「～のはずがない」

「～かもしれない」なら“may”、

「～に違いない」なら“must”を使います。

✎ 【なぜこの形が正しいの？】

「朝食を食べたばかりなのに、お腹がすいているはずがない」

＝強い否定の推量 → “can't be hungry”。

❌ 【他の選択肢がダメな理由】

- ② **may** → 「～かもしれない」。肯定の可能性を表すので逆の意味になる。
- ③ **mustn't** → 「～してはいけない」（禁止）。意味がまったく違う。
- ④ **should** → 「～すべき」「～のはず（一般的期待）」で、事実と反する強い否定には使えない。

✖ 【覚え方のコツ】

👉 “can't be ～”＝「～のはずがない」

👉 “must be ～”＝「～にちがいない」

📘 例：

- She must be tired. (彼女は疲れているにちがいない)
- She can't be tired. (彼女が疲れているはずがない)

4. His house had two bedrooms: one on the ground floor, and () upstairs.

- ① another ② other ③ the another ④ the other

✅ 【正解】④ the other

日本語訳：彼の家には寝室が2つあって、1つは1階、もう1つは2階にあった。

💡 【ポイント】

“the other” は「2 つのうち、もう 1 つ」という意味。文の中に「two」や「one」があるときによく使われます。

【なぜこの形が正しいの？】

“one”が出たあとの「もう一方」は決まったものを指すので、
the (その) + other (もう 1 つ) = the other になります。

【他の選択肢がダメな理由】

- ① **another** → 「3 つ以上ある中のもう 1 つ」。今回は 2 つなので×。
- ② **other** → “other”は形容詞。「他の～」のあとに名詞が必要（例：other rooms）。単独では使えない。
- ③ **the another** → “another”はすでに“an+other”なので、“the”はつけられない。

【覚え方のコツ】

 2 つなら “the other” / 3 つ以上なら “another”

 例：

- I have two pencils. One is red and **the other** is blue.
(鉛筆が 2 本ある。1 本は赤でもう 1 本は青。)
- I have three pencils. One is red and **another** is blue.
(3 本のうちの別の 1 本が青。)

5. Susan was used () speeches in public.

① make ② making ③ to make ④ **to making**

【正解】④ to making

日本語訳：スーザンは人前でスピーチすることに慣れていた。

【ポイント】

“be used to ~ing” = 「～に慣れている」

ここでの“to”は不定詞ではなく、**前置詞の to** です！

【なぜこの形が正しいの？】

“used to”と聞くと「昔～していた」を思い出す人が多いですが、
“be used to”はまったく別物。

“to”のあとには名詞か動名詞が来るので、**making** になります。

【他の選択肢がダメな理由】

- ① **make** → 原形は前置詞のあとに置けない。
- ② **making** → “to”がないと意味がつかない。
- ③ **to make** → “to”を不定詞と勘違いしているパターン。ここは前置詞なので×。

【覚え方のコツ】

 “be used to ~ing” = 「～に慣れている」

👉 “used to 動詞”＝「昔は～していた」

📘 例：

- I am used to getting up early. (早起きに慣れている)
- I used to get up early. (昔は早起きしていた)

6. He () all his classmates.

① was laughed ② was laughed at ③ **was laughed at by** ④ was laughed by

✅【正解】③ was laughed at by

日本語訳：

彼はクラスメート全員に笑われた。

💡【ポイント】

“laugh at ～”＝「～を笑う」

これを受け身にすると、“be laughed at by ～”になります。

✎【なぜこの形が正しいの？】

受け身 (be + 過去分詞) のとき、

**前置詞 (at) や by (～によって) **は残ります。

なので、「笑う対象」を表す at と、「誰によって」を表す by の両方が必要です。

❌【他の選択肢がダメな理由】

- ① was laughed → “at”がないので「何を笑われたのか」が不明。
- ② was laughed at → “by～”がないため「誰に笑われたか」が抜けている。
- ④ was laughed by → “laugh”は他動詞ではないので、by の直後に人を置けない。

✂【覚え方のコツ】

👉 “laugh at ～”の受け身は“be laughed at by ～”

👉 「前置詞は受け身になっても消えない」

📘 例：

Everyone laughed at him. → He **was laughed at by** everyone.

7. The pop singer stood () by a lot of fans.

① **surrounded** ② surrounding ③ to have surrounded ④ to surround

✅【正解】① surrounded

日本語訳：その人気歌手は、多くのファンに囲まれて立っていた。

💡【ポイント】

過去分詞“surrounded”は「～に囲まれた状態」を表します。文中の“stood”は「立っていた」＝状態動詞なので、

状態を説明するのにぴったりなのが「過去分詞」なんです。

【なぜこの形が正しいの？】

“surrounded by～”＝「～に囲まれている」

つまり、歌手が「囲んでいる」側ではなく「囲まれている」側なので、**過去分詞**を使います。

【他の選択肢がダメな理由】

- ② **surrounding** → 「囲んでいる（能動）」意味が逆。
- ③ **to have surrounded** → 「囲んだことがあるため」となるので文の時制に合わない。
- ④ **to surround** → 「囲むために」→意図の意味になり不自然。

【覚え方のコツ】

 「～されている状態」＝過去分詞

 「～している人（もの）」＝現在分詞

 例：

- The room was **filled** with people. (部屋は人でいっぱいだった)
- The boy **standing** there is my brother. (あそこで立っている男の子は私の兄)

8. Do you () your children drink coffee?

① allow ② forgive ③ **let** ④ permit

【正解】③ let

日本語訳：あなたは子どもにコーヒーを飲ませますか？

【ポイント】

“let + 人 + 動詞の原形”＝「人に～させる（許可）」「～してもいいよ」という柔らかい許可を表します。

【なぜこの形が正しいの？】

“let”の後ろは**動詞の原形**を置くのが決まり。

“make”や“have”も同じ「使役動詞」グループです。

【他の選択肢がダメな理由】

- ① **allow** → “allow 人 to 動詞”が正しい形。“to”が必要。
- ② **forgive** → 意味が「許す（罪をゆるす）」で、行動の許可ではない。
- ④ **permit** → “permit 人 to 動詞”の形。“to”が必要で、少しかしこまった言い方。

【覚え方のコツ】

 “let + 人 + 動詞の原形”＝「～させてあげる」

 “make + 人 + 動詞の原形”＝「むりやり～させる」

 例：

- My parents **let** me go out at night. (両親は夜外出させてくれる)

- My teacher **made** me clean the room. (先生は私に掃除をさせた)

9. She was seen () in the classroom.

- ① sang ② sing ③ **singing** ④ sung

✅【正解】③ singing

日本語訳：

彼女は教室で歌っているのを見られた。

💡【ポイント】

“see + 人 + 動詞の形”には2パターンあります👉

- 動詞の原形 → 全体の動作を見た
- ~ing形 → 動作の途中（進行中）を見た

ここでは「歌っている途中」を見られたので、“singing”。

✎【なぜこの形が正しいの？】

“see 人 doing”は「～しているのを見る」

受け身にすると“be seen doing”になります。

❌【他の選択肢がダメな理由】

- ① sang → 過去形で文の形が崩れる。
- ② sing → 原形は「全部の動作を見たとき」。途中の動作を表すこの文には合わない。
- ④ sung → 過去分詞で、受け身の構文では使わない。

🌸【覚え方のコツ】

👉 “be seen doing” = 「～しているところを見られる」

📘 例：

I saw her dancing in the park. (彼女が公園で踊っているのを見た)

She was seen dancing in the park. (彼女は踊っているところを見られた)

10. That man () soccer with students over there is Mr. Green.

- ① is playing ② played ③ **playing** ④ plays

✅【正解】③ playing

日本語訳：

あそこで生徒とサッカーをしている男性はグリーン先生です。

💡【ポイント】

“playing”は現在分詞で、名詞（man）を説明しています。

→「サッカーをしている男性」

【なぜこの形が正しいの？】

文の主語は“That man”。

その人がどんな人か説明するのが“playing soccer with students”。

これは**分詞の修飾**と呼ばれます。

【他の選択肢がダメな理由】

- ① **is playing** → 動詞が2つになって文が成り立たない (That man **is** も **is playing** も動詞)。
- ② **played** → 「サッカーをした男性」になり、過去の出来事になってしまう。
- ④ **plays** → 「よくサッカーをする男性」なら OK だが、今している状況を表せない。

【覚え方のコツ】

 “現在分詞 (～ing)”で「～している人 (物)」を説明できる！

 例：

- The girl **talking** to the teacher is my sister. (先生と話している女の子は私の妹です。)
- The man **sitting** on the bench is my father. (ベンチに座っている男性は私の父です。)

11. Japan has one twenty-fifth of the land area of the United States. (), it is about the size of California.

① For example ② However ③ **In other words** ④ On the other hand

【正解】③ In other words

日本語訳：日本の面積はアメリカの25分の1です。つまり、カリフォルニア州くらいの大きさです。

【ポイント】

“In other words”＝「言い換えると」

前の文を別の言い方で説明したいときに使います。

【なぜこの形が正しいの？】

1 文目「アメリカの25分の1」→2 文目「カリフォルニア州くらい」

＝同じことを別の言い方で説明している。

だから“言い換えると”の **In other words** がぴったり。

【他の選択肢がダメな理由】

- ① **For example** → 「たとえば」なので、例を出すときに使う。今回は例ではなく説明。
- ② **However** → 「しかし」反対の意味を述べるとき。意味が逆になる。
- ④ **On the other hand** → 「一方で」。対比を出すときに使う。ここでは対比していない。

【覚え方のコツ】

 “In other words”＝「別の言い方をすると」

 “For example”＝「たとえば」

 “However”＝「しかし」

■ 例：

- It's raining. **In other words**, we can't play soccer. (雨が降っている。つまりサッカーはできない。)

12. Please don't forget () her tomorrow.

- ① having seen ② see ③ seeing ④ **to see**

✅【正解】④ to see

日本語訳：明日、彼女に会うのを忘れないでね。

💡【ポイント】

“forget to do”＝「これから～するのを忘れる」

“forget doing”＝「～したことを忘れる」

✎【なぜこの形が正しいの？】

「明日会う」＝これからのこと。

だから未来の行動を表す不定詞 **to see** が正解です。

❌【他の選択肢がダメな理由】

- ① **having seen** → 「すでに会ったことを忘れる」意味がずれる。
- ② **see** → 原形動詞は前に“to”が必要。
- ③ **seeing** → 過去の経験「会ったことを忘れる」になり、未来の予定に合わない。

✂【覚え方のコツ】

👉 これから → to do

👉 すでに → doing

■ 例：

- Don't forget **to lock** the door. (ドアを閉めるのを忘れないで)
- I'll never forget **meeting** you. (あなたに会ったことを忘れない)

13. It was () a nice day that we decided to go on a picnic.

- ① enough ② so ③ **such** ④ too

✅【正解】③ such

日本語訳：とても良い天気だったので、ピクニックに行くことにした。

💡【ポイント】

“such + (a/an) + 形容詞 + 名詞 + that ～”＝「とても～なので…」の形を作ります。

✎【なぜこの形が正しいの？】

“so”のあとは形容詞、“such”のあとは**形容詞＋名詞**を置くのがルール。ここは “a nice day” と名詞があるから、“such”。

❌【他の選択肢がダメな理由】

- ① **enough** → 「十分に」。意味が合わない。
- ② **so** → 名詞がある場合は×。“so nice”なら OK。
- ④ **too** → 「～すぎる」。ポジティブな文には使わない。

✳️【覚え方のコツ】

👉 “so + 形容詞 + that”

👉 “such + 形容詞 + 名詞 + that”

📘 例：

- It was **so hot** that I stayed home.
- It was **such a hot day** that I stayed home.

14. I'll give you a key () you can get in anytime.

① as if ② once ③ **so that** ④ till

✅【正解】③ so that

日本語訳：

いつでも入れるように鍵をあげるよ。

💡【ポイント】

“so that”＝「～できるように」

目的を表す接続詞です。

✎【なぜこの形が正しいの？】

「あなたがいつでも入れるように」という目的の意味だから、
so that + 主語 + can/will の形がぴったり。

❌【他の選択肢がダメな理由】

- ① **as if** → 「まるで～のように」。意味が違う。
- ② **once** → 「一度～すれば」。条件の意味で文脈が合わない。
- ④ **till** → 「～まで」。時間の意味になる。

✳️【覚え方のコツ】

👉 “so that + S + can (will) ～”＝「S が～できるように」

📘 例：

- I'll leave early **so that** I won't be late. (遅れないように早く出る。)
-

15. We talked about the problem () a cup of coffee.

① at ② in ③ **over** ④ to

✅【正解】③ **over**

日本語訳：私たちはコーヒーを飲みながらその問題について話し合った。

💡【ポイント】

“over”＝「～をしながら」「～を囲んで」食事や飲み物を取りながら話すときによく使う前置詞です。

✎【なぜこの形が正しいの？】

「コーヒーを飲みながら」という“同時進行”のニュアンスなので、
“over a cup of coffee” が自然な英語になります。

❌【他の選択肢がダメな理由】

- ① **at** → 「場所」や「時刻」を表す。飲みながらの意味にはならない。
- ② **in** → 「～の中で」。意味がずれる。
- ④ **to** → 「～へ」「～に」。方向を表すので文意に合わない。

✂【覚え方のコツ】

👉 “talk over coffee”＝「コーヒーを飲みながら話す」

👉 “discuss over lunch”＝「昼食を食べながら話す」

📘 例：

We discussed the plan **over lunch**. (昼食を食べながら計画を話し合った。)

16. Tom is () of the two boys.

① the more tall ② the most tall ③ **the taller** ④ the tallest

✅【正解】③ **the taller**

日本語訳：トムは2人の少年のうち、背が高いほうだ。

💡【ポイント】

「2つのうちどちらが～」のときは **the + 比較級** を使う。“taller”は“tall”の比較級。

✎【なぜこの形が正しいの？】

「2人のうち」という限定があるから最上級ではなく、**比較級+the** で表すのが正しい。

❌【他の選択肢がダメな理由】

- ① **the more tall** → “tall”は1音節なので“more”ではなく“-er”で作る。

- ② **the most tall** → 「最も高い」は3人以上のときに使う。
- ④ **the tallest** → 3人以上の比較で使う形。今回は2人なので×。

✂️【覚え方のコツ】

👉 2人の比較 = the + 比較級

👉 3人以上の比較 = the + 最上級

📘 例：

- He is **the taller** of the two. (2人のうち背が高い方)
- He is **the tallest** in the class. (クラスで一番背が高い)

17. He worked as () as he could to support his family.

① **hard** ② harder ③ hardest ④ hardly

✅【正解】① hard

日本語訳：彼は家族を養うためにできるだけ一生懸命働いた。

💡【ポイント】

“as ~ as” = 「～と同じくらい」ここでは「できるだけ～」= “as hard as he could”で決まり文句。

✎【なぜこの形が正しいの？】

“as ~ as”は比較ではなく「限界いっぱいまで」という意味にもなる。

「できる限り一生懸命」= “as hard as one can / could”

❌【他の選択肢がダメな理由】

- ② **harder** → 比較級だが、“as ~ as”構文の中には入れない。
- ③ **hardest** → 最上級は“the”が必要で文の形が変わる。
- ④ **hardly** → 「ほとんど～ない」の意味で全く違う。

✂️【覚え方のコツ】

👉 “as hard as I can” = 「できるだけ一生懸命に」

👉 “as fast as I can” = 「できるだけ速く」

📘 例：

He ran **as fast as he could** to catch the bus.

18. () Tommy nor his sons have arrived at the airport.

① Both ② Each ③ Either ④ **Neither**

✅【正解】④ Neither

日本語訳：

トミーも彼の息子たちも、まだ空港に着いていない。

💡【ポイント】

“Neither A nor B” = 「A も B も ~ない」

✎【なぜこの形が正しいの？】

文全体が「~していない」だから、
否定の意味をもつ **Neither** を使います。

🚫【他の選択肢がダメな理由】

- ① **Both** → 「両方とも ~だ」 肯定の意味になる。
- ② **Each** → 「それぞれ」 個別を指すので文構造が変わる。
- ③ **Either** → 「どちらか一方」。否定文なら「どちらも ~ない」だが、“nor”と一緒に使うのは×。

🌸【覚え方のコツ】

👉 “Neither A nor B” = 「A も B も ~ない」

👉 “Either A or B” = 「A か B のどちらか」

📘 例：

Neither my father **nor** my mother is at home.

19. The number of elderly people who live alone () increasing in Japan.

- ① are ② do ③ does ④ is

✅【正解】④ is

日本語訳：日本では、一人暮らしの高齢者の数が増えている。

💡【ポイント】

“The number of ~”は**単数扱い**。意味は「~の数」。

✎【なぜこの形が正しいの？】

文の主語は「people」ではなく、“the number (数)”だから。数は1つなので、動詞も単数の **is** を使います。

🚫【他の選択肢がダメな理由】

- ① **are** → 複数扱い。“A number of ~”なら OK だが、ここは“The number of ~”。
- ② **do** → 一般動詞なので文型が合わない。
- ③ **does** → 動詞が“be”なので“is”が必要。

🌸【覚え方のコツ】

👉 “The number of ~” → 単数 (is)

👉 “A number of ~” → 複数 (are)

📘 例：

- The number of** students is small. (学生数は少ない。)

- A number of students are absent. (多くの学生が欠席している。)

20. “() wrote the novel?” “Maybe Haruki Murakami did.”

- ① Do you know when he ② Do you think who ③ Who do you know ④ Who do you think

✅【正解】④ Who do you think

日本語訳：

誰がその小説を書いたと思う？

💡【ポイント】

「～だと思う？」のように “do you think” が入っても、疑問詞 “who” は文頭のままに置く。

✍️【なぜこの形が正しいの？】

“Who wrote the novel?” が基本文。そこに “do you think” を挿入しても疑問詞の位置は変わらない。

❌【他の選択肢がダメな理由】

- ① Do you know when he → 「いつ～か知ってる？」の形になり意味が違う。
- ② Do you think who → 語順が不自然で、ネイティブは使わない。
- ③ Who do you know → 「誰を知っているの？」の意味になる。

✂️【覚え方のコツ】

👉 “Who do you think + 動詞” の形で覚える。

👉 疑問詞の位置は動かさない！

📘 例：

Who do you think is the best player? (誰が一番上手いと思う？)

B 問題

1. この家は私の家族が住むのに十分な広さです。

This house is large enough for my family to live in.

✅ 正解：enough / for

💡解説

“enough for ~ to …” = 「～が…するのに十分～」という形。

「形容詞 + enough」で「十分～」という意味になります。

📘 例：This bag is big enough for me to carry my books.

(このかばんは本を入れるのに十分大きい。)

2. 君のお父さんはなんてかっこよく見えるんだ。

How cool your father **looks**!

✅ 正解：How / looks

💡解説

感嘆文では、

- “How + 形容詞（副詞） + 主語 + 動詞!”
で「なんて～なんだ！」を表します。

📘 例：How **beautiful** the flowers **are**!（なんて花がきれいなんだ！）

3. 彼らはメアリーが提案した企画に満足していない。

They are not satisfied **with** the plan presented **by** Mary.

✅ 正解：with / by

💡解説

“be satisfied with ～”＝「～に満足している」

“presented by Mary”＝「メアリーによって提案された」

過去分詞“presented”で受け身の意味を出しています。

📘 例：I’m not satisfied **with** the result.（結果に満足していない。）

4. ジョンはここで車なしで生活することは困難だとわかった。

John found **it** difficult **to** live here without a car.

✅ 正解：it / to

💡解説

“find it + 形容詞 + to 動詞”＝「～することが～だとわかる／感じる」

この“it”は形式目的語（仮の it）で、“to live～”を後ろに置く形です。

📘 例：I found **it easy to** speak English.（英語を話すのは簡単だと感じた。）

5. 先生のアドバイスのおかげで、私は元気になった。

My teacher’s advice **made** me **feel** better.

✅ 正解：made (helped) / feel

💡解説

“make + 人 + 動詞の原形”＝「人に～させる」

→ここでは「先生のアドバイスが私を元気にした」という意味。

📘 例：Her smile **made me happy**.（彼女の笑顔で私は幸せになった。）

C 問題

1.

(ア) People around the world know Dr. Yamanaka.

(イ) Dr. Yamanaka is ()() people around the world.

✅ 正解：known / to

💡解説

「～に知られている」 = **be known to** ～

→「世界中の人々に知られている」という意味になります。

📘 例：He is **known to** everyone. (彼はみんなに知られている。)

2.

(ア) The bag was so heavy that I couldn't carry it.

(イ) The bag was too heavy () me () carry.

✅ 正解：for / to

💡解説

“too ～ to …” = 「～すぎて…できない」

ここでは「私が運べないほど重かった」という意味。

“for me to carry” = 「私が運ぶには」

📘 例：This box is **too heavy for me to lift**. (この箱は重すぎて持ち上げられない。)

3.

(ア) My mother said to me, “Don't leave the door open.”

(イ) My mother () me () to leave the door open.

✅ 正解：told / not

💡解説

命令文を間接話法にするとき、

“say to 人” → “tell 人” に変えます。

否定文は **not to 動詞の原形** で表します。

📘 例：She told me **not to go** there. (彼女は私にそこへ行かないように言った。)

4.

(ア) When he left home, he didn't close the window.

(イ) He left home ()() the window.

✅ 正解：without / closing

🔦解説

「～せずに」 = **without** + 動名詞 (～ing)

→「窓を閉めずに家を出た」

📘 例：He went out **without saying** anything. (彼は何も言わずに出て行った。)

5.

(ア) Tim came to Japan ten years ago.

(イ) Tim () lived in Japan () ten years.

✅ 正解：has / for

🔦解説

「～前に来て、今もいる」 = 現在完了形 (**has lived**)

“for” は「～のあいだずっと」。

📘 例：I **have lived** here **for** five years. (私は5年間ここに住んでいる。)

D 問題

1

A: Mom, is it OK if I go and see a movie on Sunday?

B: No. Your uncle and aunt are coming to visit us.

A: Oh, (). I visited them last week.

B: That's true. Well, come home as soon as it finishes.

① I need some more pocket money.

② I really want to meet them again.

③ They may decide to go with me.

④ **They won't mind if I'm not here.**

✅ 正解：④

🔦解説

お母さんが「日曜はおじさんとお婆さんが来る」と言って止めている場面。

→A は「私はいなくても大丈夫」と言いたい流れ。

だから ④ **They won't mind if I'm not here.** (私がいなくても気にしないよ) が自然。

📘 ポイント：

“mind if S + V” = 「～したら気にする」

2

A: I'm having a party at my home tomorrow. Why don't you come, Taro?

B: Tomorrow? I'm sorry, I have to do my homework, Ana.

A: Oh, that's a pity! ()

B: I won't be finished until late. Thanks, anyway.

- ① Let's go to the restaurant instead.
- ② Why didn't you come yesterday?
- ③ **Can you come after your homework?**
- ④ What day will be convenient for you?

✅ 正解：③

💡解説

Bが「宿題がある」と断っている。

Aは「じゃあ終わったあとに来られる？」と誘うのが自然な流れ。

→ **Can you come after your homework? (宿題のあとに来られる?)**

📌 ポイント：

“after your homework” = 「宿題のあと」

“Thanks, anyway.” = 「(無理だけど) ありがとうね」

3

A: Hi, Anne. Jane speaking. Where are you?

B: Sorry, Jane. There's a traffic jam, so I'll be late.

A: What happened? ()

B: No. They're doing some road construction.

- ① **Was there an accident or something?**
- ② The road is under construction, isn't it?
- ③ You would be late for the movie.
- ④ What time will you come?

✅ 正解：①

💡解説

Aは「交通渋滞」と聞いて、「事故か何かあったの？」と聞くのが自然。

→ ① **Was there an accident or something? (事故か何かあったの?)**

📌 ポイント：

“or something” = 「～か何か」

相手の話に驚いたときや推測するときによく使う。

4

A: I heard that you gave up using a smartphone a year ago. Is that true, Mike?

B: Yes. Now I just use an old phone. I can only make calls and send short text messages.

A: Why did you do that? ()

B: Well, actually, I don't really think we need to have access to information all the time. Also, I feel relaxed since I gave up my smartphone.

- ① I'd like to see it again.
- ② I don't want you to use a smartphone.

③ I think you need a smartphone to help you to check SNS or find out what is happening in the world.

④ I wonder if you use an old phone to study math and play games.

✅ 正解：③

💡解説

Aが「なぜスマホをやめたの？」と聞いたあとに、

「SNSを見たり情報を調べたりするのに必要じゃない？」と返すのが自然。

→ ③ I think you need a smartphone... が文脈にぴったり。

5

A: Good afternoon. May I help you?

B: Well, I want to buy my father a tie for his birthday.

A: () A striped one? Or a checked one?

B: Maybe that striped one, please.

① What kind of present would you buy?

② What color would you prefer?

③ What type of tie would you like?

④ When is your father's birthday?

✅ 正解：③

💡解説

Aが「どんなネクタイがいいですか？」と尋ねる流れ。

次のセリフで「ストライプの？チェックの？」と聞いているため、

→ “What type of tie would you like?” が自然。

📌 ポイント：

“What type of ～ would you like?” = 「どんな種類の～がよろしいですか？」

E 問題

(全訳)

ある町に、ひとりの男と、たった 10 歳の娘がいました。彼は娘をととても愛しており、娘のためだけに生きていました。ある 11 月の日、少女が父に言いました。「お父さん、来月お誕生日だね。お誕生日に何がほしい？」父は笑って言いました。「何でもいいよ、かわいい娘よ。」「わかった、お父さん」と彼女は言いました。次の月、父の誕生日の日。少女は学校の帰りに、父へのプレゼントを買いに大通りを歩いていました。もうクリスマスの季節で、町中の店がたくさんのクリスマス商品やキャンドルで飾られていました。彼女はお店のウィンドウの中に小さくて美しいキャンドルを見つけました。値段はあまり高くなく (3 ドルほど)、彼女はそれを父の誕生日プレゼントとして買いました。しかし、彼女には特別なクリスマス用の包装紙を買うお金が足りませんでした。だから家に帰ると、家中を探して、きれいな色の紙を見つけました。その紙でプレゼントをきれいに包み、父に渡す準備をしました。夜になり、仕事で疲れて帰ってきた父に、彼女はうれしそうにプレゼントを差し出しました。父はカラフルな包装紙を見て、「高そうだ」と思いました。さらに床に、使い残しの包装紙がたくさん散らばっているのを見て怒りました。家計は厳しく、無駄遣いはできなかったのです。「こんなことにお金を使うんじゃない！」と怒鳴り、部屋に入ってしまった。娘は黙って立ち尽くし、プレゼントを見つめていました。

数日後のクリスマスの日。少女は再び父にプレゼントを持ってきて言いました。「これはお父さんへのプレゼントだよ。」父は数日前に怒ってしまったことを反省していました。今度は優しくそのプレゼントを受け取り、包みを開けました。しかし中は空っぽでした。父は困惑して娘を抱きしめ、「プレゼントをあげるときは中に何か入っているものなんだよ」と言いました。娘は涙を浮かべながら答えました。「でも、お父さん、空っぽじゃないの。中にいっぱいキスを入れたの。全部お父さんのために吹き込んだのよ。」父はその言葉を聞いて泣き、娘を強く抱きしめました。「ごめんね、あんなに怒って」と謝ると、娘は微笑んで言いました。「いいのよ、お父さん。私はいつでもお父さんを愛してる。お父さんはすぐ寂しくなるから、ずっと一緒にいるよ。」

その数日後、少女は突然倒れ、病院に運ばれました。医者は父に、「娘さんは白血病で、おそらく助からないでしょう」と伝えました。父はショックで、何もできませんでした。ベッドのそばに座る父に、少女は尋ねました。「お父さん、私、死ぬの?」「いいや、君は生きるさ」と父は言いました。そして彼女を抱きしめ、何度も額にキスをしました。少女は言いました。「お父さん、たくさんキスしてくれてありがとう。大好き。」努力を尽くしたけれど、少女の病気は治りませんでした。数年後のクリスマスの日、彼女は亡くなりました。その後、父は深い悲しみに沈み、誰にも会わず、何もする気になれませんでした。

数年が過ぎたあるクリスマスの夜。彼は夢を見ました。夢の中で、白いキャンドルを持った多くの少女たちが列になって歩いていました。その中で、1 人だけキャンドルの灯が消えている少女がいました。それは自分の娘でした。彼は駆け寄って聞きました。「どうしてキャンドルが消えているんだい?」少女は答えました。「お父さん、他の子が灯をつけてくれても、お父さんの涙が消してしまうの。」

彼は目を覚まし、何をすべきか悟りました。その日から、彼は人と会うようになり、明るく生きようになりました。今でも、娘が誕生日にくれたキャンドルと箱を大切に枕元に置いています。悲しいとき、孤独なとき、そのキャンドルを灯し、箱の中から「想像上のキス」を取り出します。そして涙を流さず、娘の愛を思い出すのです。

✿ 必要な文法ポイント

文法項目	例文 (抜粋)	ポイント解説
過去形	He loved his daughter.	物語全体は「過去の出来事」なので基本は過去形。
過去進行形	She was walking on Main Street.	「～しているところだった」を表す。背景説明に使う。
過去完了形	He felt ashamed of what he had done. (※原文要約)	「過去のある時点より前」を表す。
不定詞 (名詞用法・副詞用法)	to buy a birthday gift / to see a movie	「～するため」「～すること」など。
助動詞	He couldn't afford any waste.	「～できなかった」can の過去形。
接続詞	because / when / so / although	文章をつなげる基本的な接続語。
関係代名詞	the girl who had leukemia	「～する (した) 女の子」という説明をつける。
命令文 + and / but	Come home as soon as it finishes.	指示 + 条件で「～したら～しなさい」。
間接疑問文	He didn't know what to do.	「何をすべきかわからなかった」= 疑問詞 + to 不定詞。
感嘆文	Oh, my sweetheart!	感情をこめた表現。「なんて～なんだ!」の形にも応用できる。
受け身	She was taken to the hospital.	「～される」動作の受け手を表す。
前置詞句	on Christmas Day / in a shop / by her bed	時・場所・手段などを表す。

1 When the little girl gave the birthday gift to her father, why did he get angry?

(少女が父親に誕生日プレゼントを渡したとき、なぜ彼は怒ったのですか?)

- ① 彼は仕事でとても疲れていて、小さなキャンドルが高価に見えたから。
- ② 中に特別なものが入っていないことに気づいて、とても驚いたから。
- ③ クリスマスの日に、床にたくさんの使い残したカラフルな包装紙を見たから。
- ④ 娘が高価なカラフルな包装紙をたくさん無駄にしたと思ったから。

2 What was the gift the girl gave her father on Christmas Day?

(少女がクリスマスの日に父に贈ったプレゼントは何でしたか?)

- ① カラフルな紙で包まれた小さくて美しいキャンドル。
- ② 目には見えないけれど、たくさんの愛で満たされたもの。
- ③ 灯のついた白いキャンドルとたくさんのチョコレートの箱。
- ④ 涙の形をしたキャンドルで、クリスマスの包装紙に包まれていたもの。

3 After the little daughter died, her father (3)

(娘が亡くなったあと、父はどうしたか?)

- ① 一日中家にいて、元の生活に戻るための何の努力もしなかった。

- ② 娘の死で精神的にひどく傷つき、入院して寝たきりになった。
- ③ 娘の死に深く傷つき、娘が毎晩夢に現れるようになった。
- ④ 人と会うのをやめて引きこもっていたが、後に友人たちと明るく交流するようになった。

4 Why did the little girl's father go back to his normal life?

(少女の父親が再び普通の生活に戻れたのはなぜですか?)

- ① 娘が「クリスマスの日にキャンドルを消さない」と約束したから。
- ② 多くの少女たちが父親に「人と関わるべき」と助言したから。
- ③ 娘と父がキャンドルを手にして抱き合ったから。
- ④ 彼は夢の中で娘と話をし、なぜ彼女のキャンドルの灯がついていなかったのかを知ったから。

5 What is the theme of this story?

(この物語のテーマは何ですか?)

- ① 人生の意味とは、家族のために生きることである。
- ② 真実の愛は幽霊のようなもの。見た人は少ない。
- ③ 天国の涙は暗いキャンドルから生まれる。
- ④ たとえ誰かを失っても、私たちは生き続けなければならない。

F 問題

1. カナダは日本よりもはるかに広い。

(① much ② Canada ③ Japan ④ is ⑤ larger ⑥ than)

✔ 正解: Canada is much larger than Japan.

(カナダは日本よりもはるかに広い。)

💡 文法解説

- ・ 「A は B より～だ」 = A is 比較級 than B
- ・ 「はるかに」などの強調語は、比較級の前に置く。

📌 ポイント

much + 比較級 = 「ずっと～」

larger than = 「～より広い」

2. 私たちは手伝ってくれる人を探している。

(① someone ② looking ③ for ④ help ⑤ to ⑥ are)

✔ 正解: We are looking for someone to help us.

(私たちは私たちを手伝ってくれる人を探している。)

💡 文法解説

- ・ 「～を探している」 = look for ～
- ・ 「～してくれる人」 = someone to + 動詞 (不定詞の形容詞用法)

📌 ポイント

someone to help us = 「私たちを助けてくれる誰か」

be 動詞 + ～ing = 進行形「～している」

3. 私はジョーがどこ出身なのか知らない。

(① Joe ② is ③ know ④ don't ⑤ from ⑥ where)

✅ 正解 : I don't know where Joe is from.

(私はジョーがどこ出身なのか知らない。)

💡 文法解説

- 「～かどうか／～なのか」などを含む文は 間接疑問文。
- 形は「疑問詞 + 主語 + 動詞」。

📌 ポイント

where Joe is from (Joe がどこ出身か)

= 疑問詞 where が文の中に入っているので語順は「主語 → 動詞」になる。

4. あなたはどうやって美術館へ行きましたか。

(① go ② did ③ how ④ you ⑤ the museum ⑥ to)

✅ 正解 : How did you go to the museum?

(あなたはどのようにして美術館へ行きましたか。)

💡 文法解説

- 「どうやって～しましたか？」 = How did you ～ ?
- 「～へ行く」 = go to ～

📌 ポイント

do の過去形 did を使うと、動詞は原形 (go) になる。

5. 彼女は目を輝かせながらやってきた。

(① her ② eyes ③ came ④ with ⑤ shining ⑥ she)

✅ 正解 : She came with her eyes shining.

(彼女は目を輝かせながらやってきた。)

💡 文法解説

- 「～しながら」「～の状態で」 = with + 名詞 + ～ing の形。
- 「come」 = 「やってくる」

📌 ポイント

with her eyes shining = 「目を輝かせて」

with + 目的語 + 現在分詞 → 状況を表す表現。